



平見 尚隆

香川大学 教授・  
広島大学 客員教授

日本から見ると、ニカラグアは一見、謎に包まれた国かもしれません。中央アメリカの一部であるこの国は、湖沼と火山の地形によって特徴付けられます。飛行機で首都マナグアへと下降する際、まず目に入るのが壮大なマナグア湖で、かつてこの地が火山活動によって形成されたことを教えてくれます。この湖を取り囲むように広がる豊かな緑深い風景の中で出会ったのが、一際目を引くカラフルな野鳥、ニカラグアの国鳥であるアオマユハチクイモドキです。ラケットのような形状をした尾が印象的で、青色の横線が入った目の上の特徴的な眉は、そのまま彼らの名前になったようです。宿泊していたロッジの裏庭に遊びに来たところを撮影することができました。

